



20日で身につく AutoCAD 入門講座

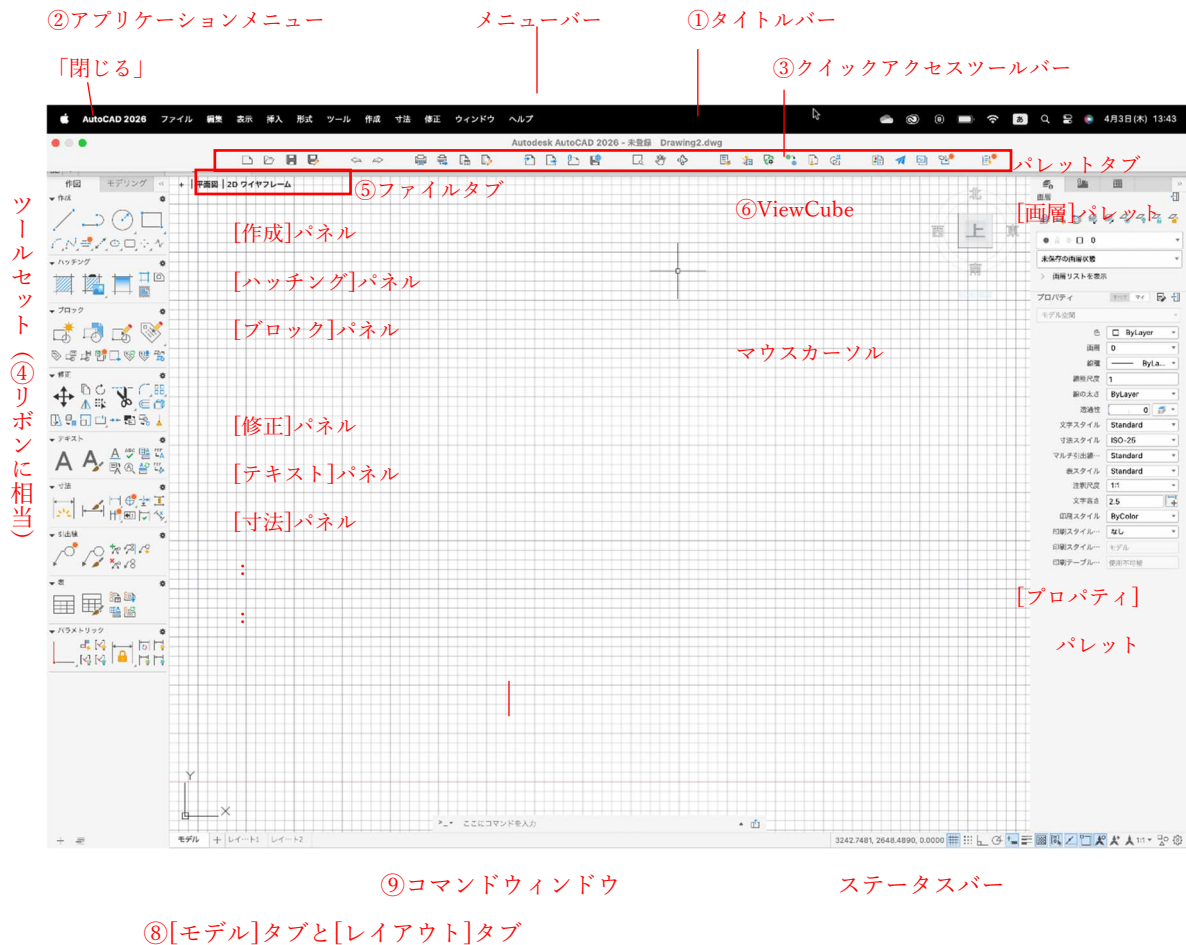
¥2,400+税 ObraClub

本書では Windows 版 AutoCAD の画面を使って、操作手順等を説明しています。Windows 版と MacOS 版では、AutoCAD の画面表示やコマンド階層など異なる点がいくつかあります。

本 PDF は、本書で MacOS 版 AutoCAD を学習する方のための補足資料です。本書のページ毎に MacOS 版の Windows 版と異なる点やその部分を MacOS 版では、どのように操作するかを記載しています。

p.12 MacOS 版 AutoCAD の画面と各部名称

※①～の番号は p.12Windows 版 AutoCAD 画面に振った番号を示します。

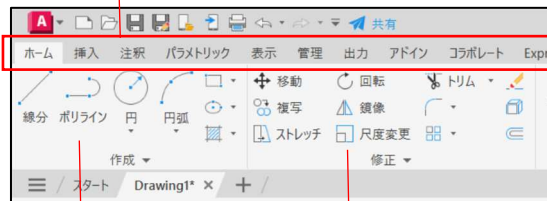


コマンドアイコンの配置について

●Windows 版

画面上部のリボンごとの分類別パネルにコマンドが配置

リボンタブ (大分類)



[作成]パネル

[修正]パネル

※パネルごとの分類や各パネルに配置されているコマンドは、Windows 版と MacOS 版では若干異なります。

●MacOS 版

画面左のツールセットの分類別パネルにコマンドが配置

[作成]パネル

[ハッチング]パネル

[ブロック]パネル

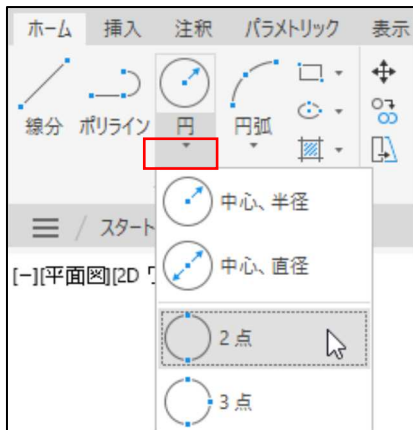
[修正]パネル



コマンド選択のためのプルダウンメニューの表示方法

●Windows 版

コマンドの[▼]を



●MacOS 版

コマンドの ▾ を で長押し



プルダウンメニューが表示されたらボタンを離して、コマンド名を

画層の操作

●Windows 版

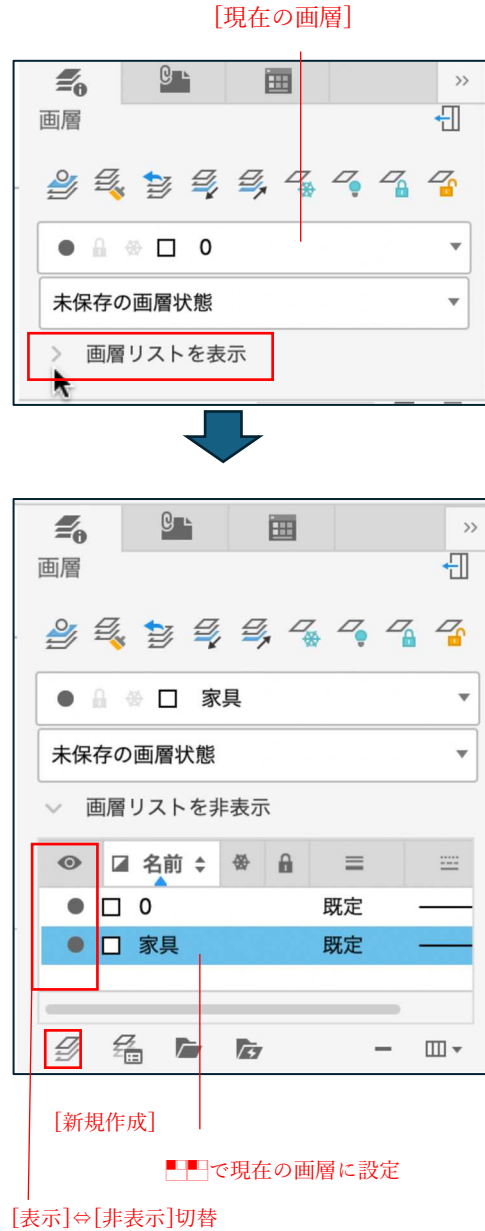
画面上部の[画層]パネル



[画層プロパティ管理]ダイアログ

●MacOS 版

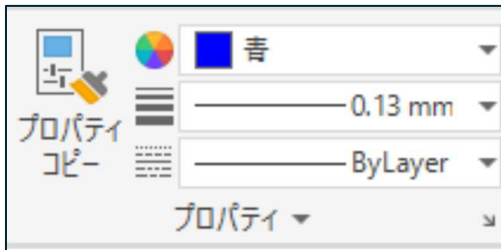
画面右の[画層]パレット



現在の色・線の太さ・線種の指定

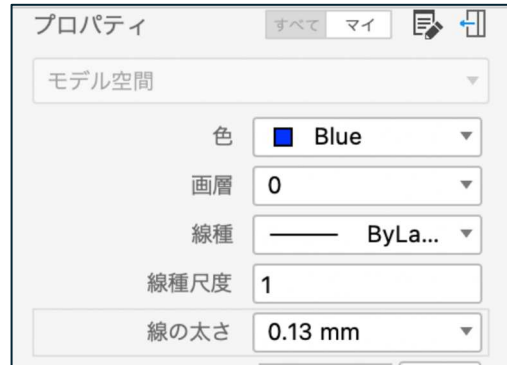
●Windows 版

画面上部の[プロパティ]パネル



●MacOS 版

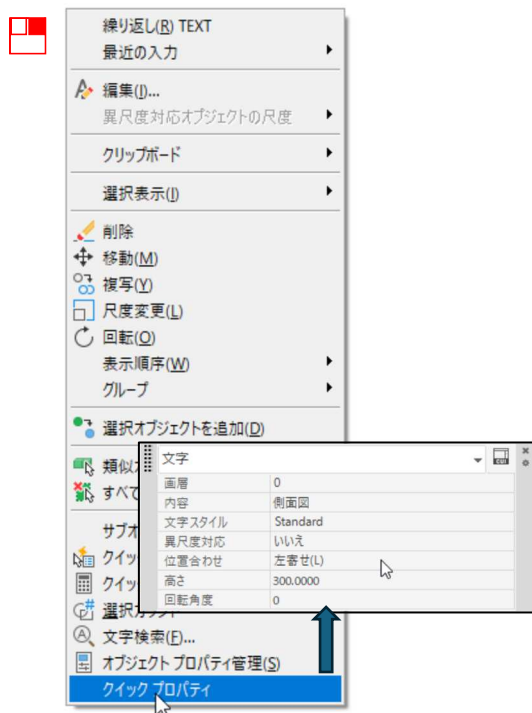
画面右の[プロパティ]パレット



[クイックプロパティ]パレットの開き方

●Windows 版

対象オブジェクトを□後、作図領域で□し、ショートカットメニューの[クイックプロパティ]を□





●MacOS 版

対象オブジェクトを□すると、画面右の[プロパティ]パレットが□したオブジェクトのプロパティになる

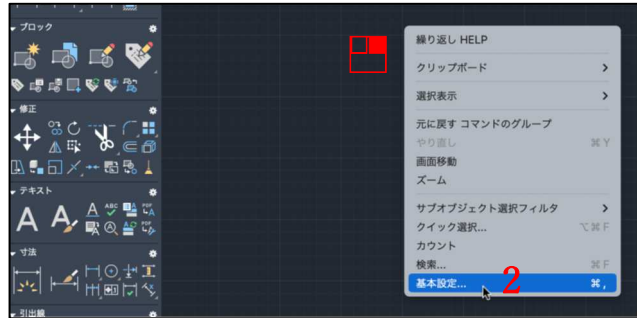



p.14 Step1 操作環境を変更する




操作 2~8 の代わりに以下の 2~6 を行います。




2 作業領域で  し、ショートカットメニューの [基本設定] を 


⇒ [アプリケーション基本設定] ダイアログが開く。



3 [ロック&フィール] を 


4 [テーマ] ボックスの  を  し、[ライト (明るい)] を 


5 [モデル空間] ボックスの  を  し、[白] を 

6 [OK] ボタンを 



p.15 操作 9~13 代わりに以下の 9~11 を行います。

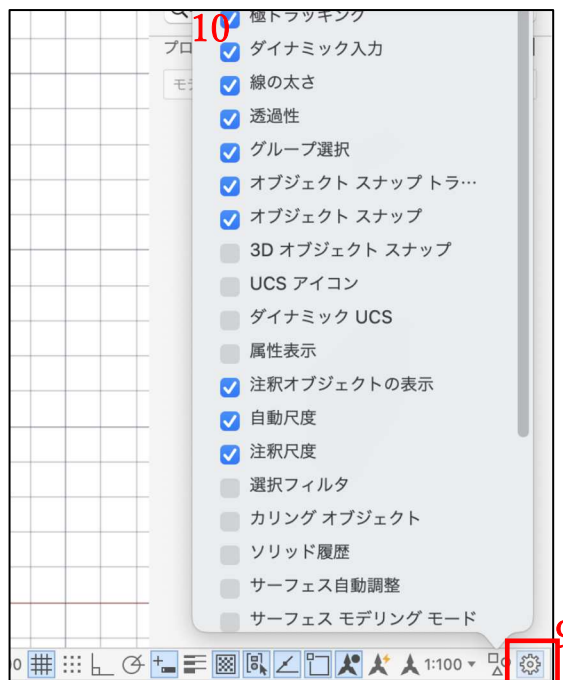
9 では、ステータスバー右端の [設定] を 

10 [ダイナミック入力] のチェックを確認し、再度 [設定] を  してメニューを閉じる

11 左上の  [閉じる] を 



※13 に相当するメッセージは表示されない



p.16 操作 4~5

4の操作を行わなくとも右図のように「ACAD20day」フォルダーが表示された場合には、「ACAD20day」フォルダーを「書類」までドラッグ（ドラッグ）します。



p.17 step3 操作 1 /p.22 step1 起動後に図面ファイルを開く

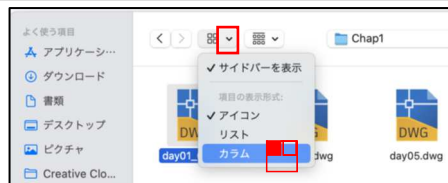
この段階では、クイックアクセスツールバーの「開く」コマンドはグレーアウトしておりできないため、操作 1 では、[スタート]タブの[開く]をクリックします。

グレーアウトしてできない

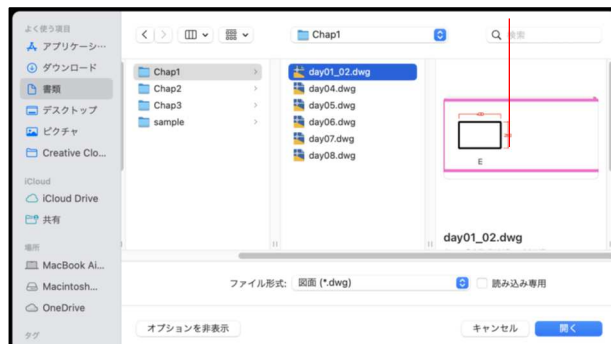


p.17 step3 操作 4で選択した図面ファイルのプレビューが表示されない


書籍の絵のようにプレビューを表示するには、[表示]メニューをクリクし、リストから[カラム]を選択します。



プレビュー





p.17 step4 操作 1 のナビゲーションバーがない **オブジェクト範囲表示**

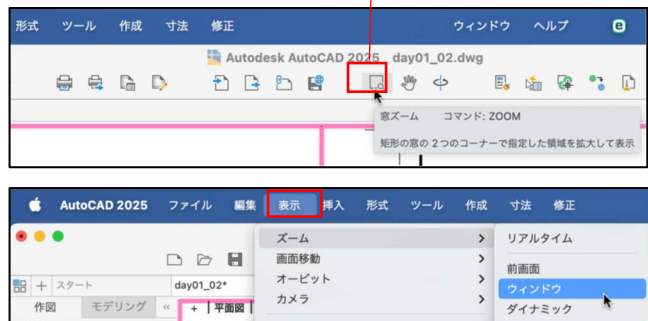
[オブジェクト範囲表示]は、作図領域で  (>p.19step7 参照)するか、あるいはメニューバー [表示] - [ズーム] - [オブジェクト範囲]を選択します。




p.18 step5 操作 1~2 のナビゲーションバーがない **窓ズーム**

[窓ズーム]は、クイックアクセスツールバーの  [窓ズーム]を  するか、あるいはメニューバー [表示] - [ズーム] - [ウィンドウ]を選択します。

[窓ズーム]コマンド





p.21 step 9 操作 2/ p.233 step6 操作 5 [いいえ]ボタンがない

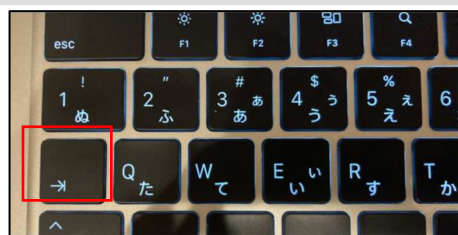
AutoCAD の終了やファイルを閉じる際に、編集中の図面ファイルが保存（または上書き保存）されていない場合、右図のようなメッセージウィンドウが開きます。ここでは、保存せずに終了・閉じるため、[保存しない]ボタンを  します。



p.28 step5 操作 5 **Tab**キーが分からない

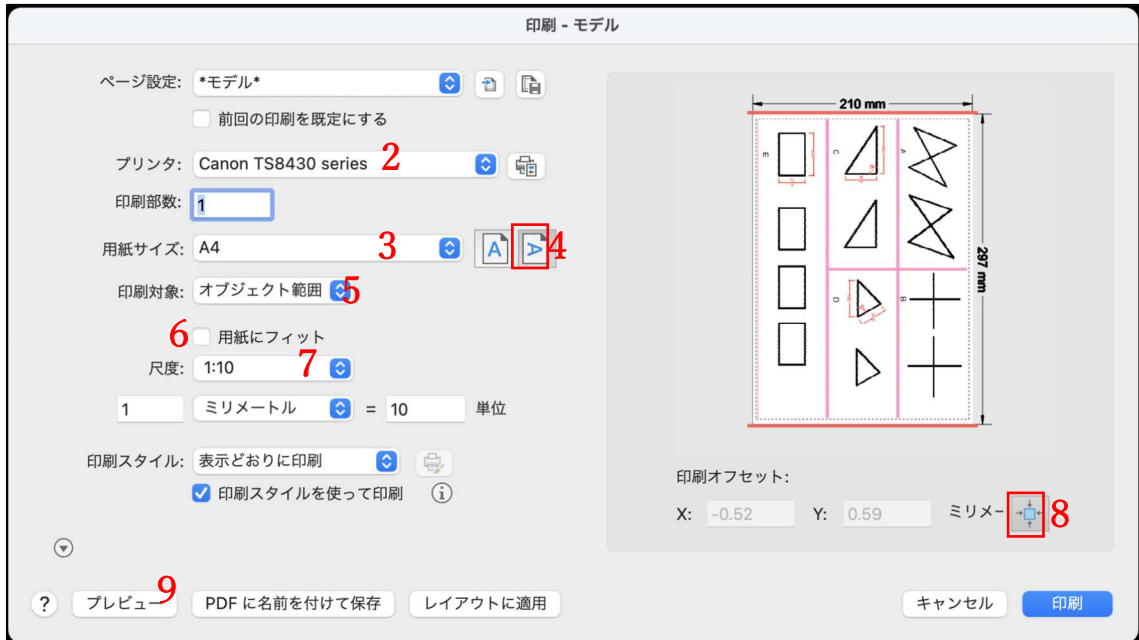
Tabキーは、キーボード左端の  キーの下の  キーを押します。

Tabキー



p.39 step2[印刷 - モデル]ダイアログやプレビュー画面が本と違う

[印刷 - モデル]ダイアログの見た目は、Windows 版と異なりますが、操作内容は同じです。操作 2~9 に該当する箇所を以下に記載しておきます。



[プレビュー]ボタンを \square して、Acrobat (Reader) が開いた場合は、その画面で印刷状態を確認したら Acrobat (Reader) を閉じます。上図の[印刷 - モデル]ダイアログに戻るので、[印刷]ボタンを \square して印刷します。

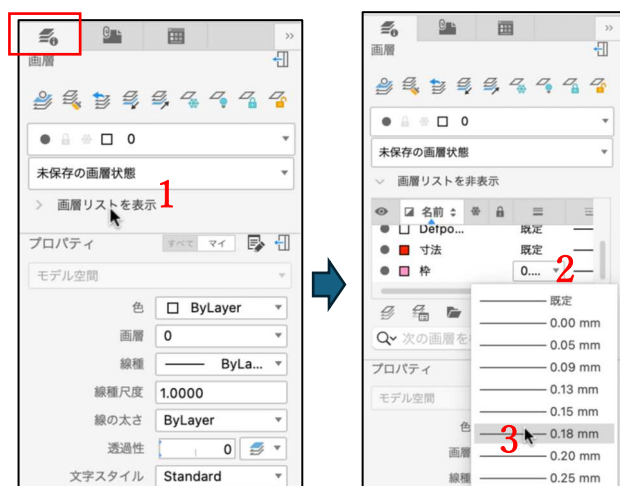
p.41 step3 操作 1~5 の代わりに以下の 1~3 を行います。 画層の線の太さ指定

1 画面右[画層]パレットの[画層リストを表示]を \square

⇒下側に「画層リスト」が表示される

2 リストを下にスライドして、「枠」画層の[線の太さ]を \square

3 プルダウンリストの「0.18 mm」を \square で選択する



p.41 step4 操作 2~6 の代わりに以下の 2~5 を行います。

- 2 [印刷-モデル]ダイアログの[ページ設定]ボックスを[<直前の印刷>]とする
- 3 [ページ設定を保存]を
- 4 [ページ設定名]ボックスに「A4 横 1:1 0」を全角文字で入力し、[OK]ボタンを

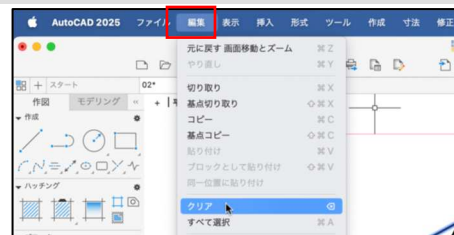


⇒[ページ設定]ボックスが 4 で設定した名前になる

- 5 プレビューは p.39 で確認しているため、[印刷]ボタンを印刷する

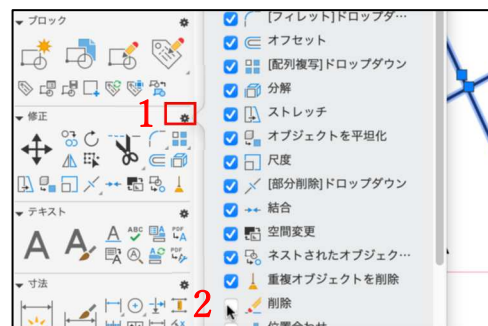
p.43 step6 操作 4 の[削除]コマンドが無い 削除

4 で[削除]コマンドをにする代わりに、メニューバー [編集] - 「クリア」をするか、Delete キーを押すことで削除できます。



また、以下の操作で、[削除]コマンドを[修正]パネルに配置することも可能です。

- 1 画面左の[修正]パネルの [パネルをカスタマイズ]を
- 2 リストの[削除]にチェックを付ける
- 3 [パネルをカスタマイズ]を再びしてリストを閉じる



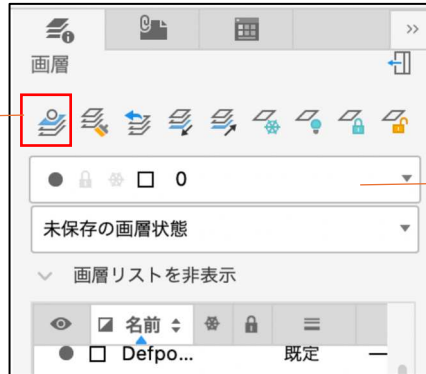
[修正]パネルに[削除]コマンドが追加される



p.60,61 step1,step2 画層の操作はどこですか？ 画層の操作

画層の操作は、画面右の[画層]パレットで行います。

Step1 操作2 [現在層に設定] コマンド



Step2 操作1

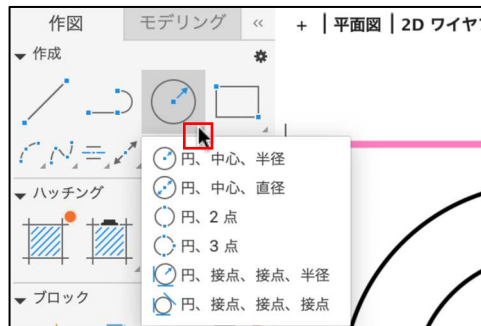
[画層] ボックス

現在の画層を表示

p.63 step4/p.65 step6 コマンドのプルダウンメニューの表示

操作1で[円] (または[円弧]) コマンドのプルダウンメニューが表示されない

Mac版では、[円] (または[円弧]) コマンドの を長押し (したまま数秒待つ) することでプルダウンメニューを表示します。メニューが表示されたらボタンを離し、メニューの[2点] (または[中心、始点、終点]) を します。



p.63 step4 操作2でオブジェクトスナップメニューが表示されない

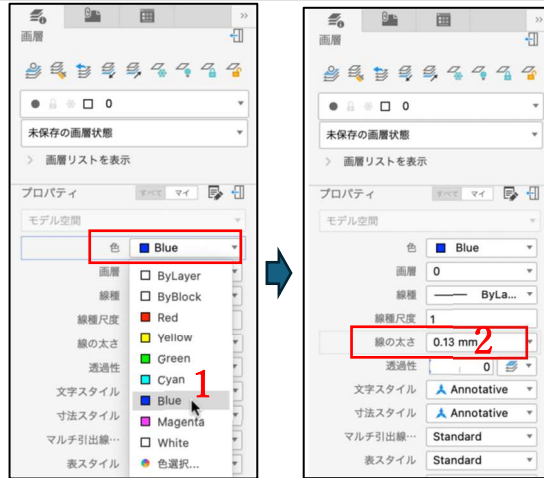
Mac版では、ステータスバーの [オブジェクトスナップ] を します。

操作3で[中点]を すると、オブジェクトスナップメニューは自動的に閉じます。

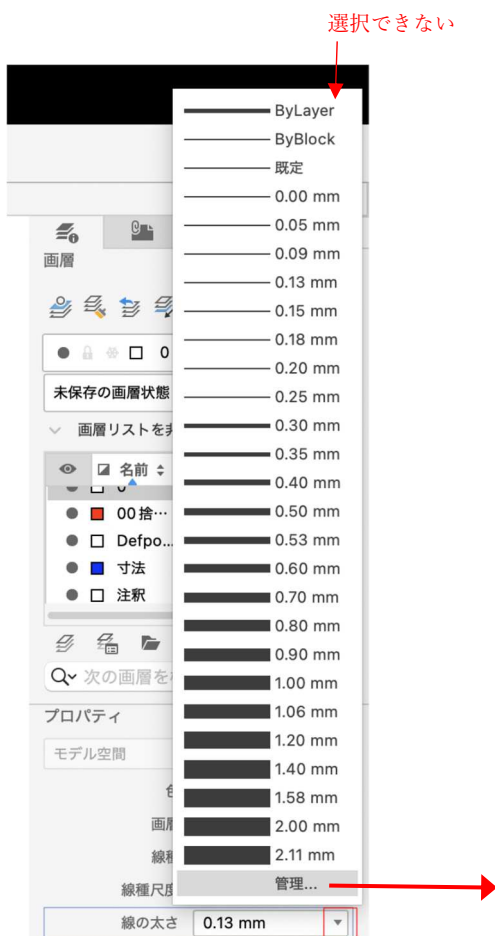


p.86 step6 操作 1,2 の指示はどこをするの？ 作図する線の色と太さの指定

操作 1,2 の[オブジェクトの色]ボックス、[線の太さ]ボックスでの指示は、画面右の[プロパティ]パレットの[色]ボックスと[線の太さ]ボックスで行います。



p.86 step7 操作 2 「ByLayer」を選択できない



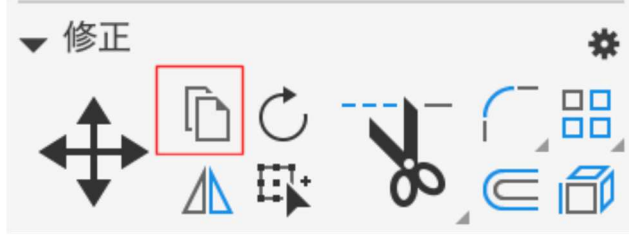
[線の太さ]ボックスの▽を□で表示されるプルダウンリストの「ByLayer」を□しても選択できない

プルダウンリストがタイトルバーまではみ出しているためか、□で選択できません。その場合は、プルダウンリストの[管理...]を□して開く[線の太さを設定]ダイアログで「ByLayer」を選択して[OK]ボタンを□してください。



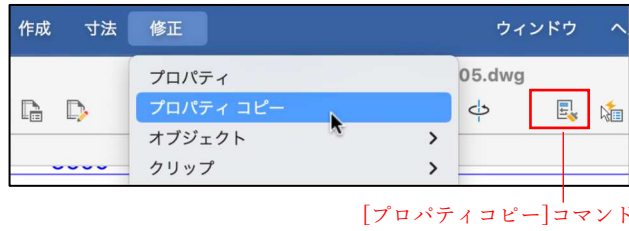
p.87 step7 操作 5 [複写]コマンドはどれ？

AutoCAD2026 for Mac から[複写]コマンドのアイコンが下図のものに変更されました。



p.91 step12 操作 1[プロパティコピー]コマンドはどこにある？ プロパティコピー

メニューバー [修正] - [プロパティコピー]を☑するか、あるいはクイックアクセスツールバーの [プロパティコピー]を☑します。



p.95 step16 操作 1,2 /p.149 step13 操作 2,3 中心線

画面左の[作成]パネルの[中心線]を☑するか、あるいはメニューバー [作成] - [中心線]を☑します。



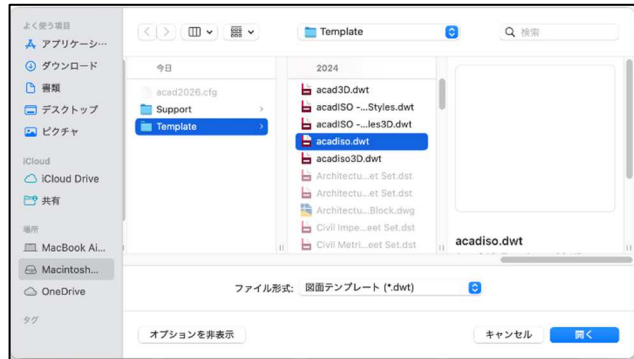
p.99 Column 操作 1で選択する[距離]コマンドはどこにある？ 距離

メニューバー [ツール] - [情報] - [距離]を☑します。



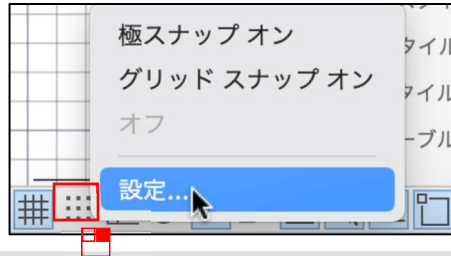
p.100,p136 step1 操作 1 を行うと[テンプレート選択]ウィンドウが開いてしまう

開いた[テンプレート選択]ウィンドウで、「acadiso.dwt」を で選択し、[開く]ボタンを してください。




p.100 step1 操作 2 [スナップモード]右に▼が無い

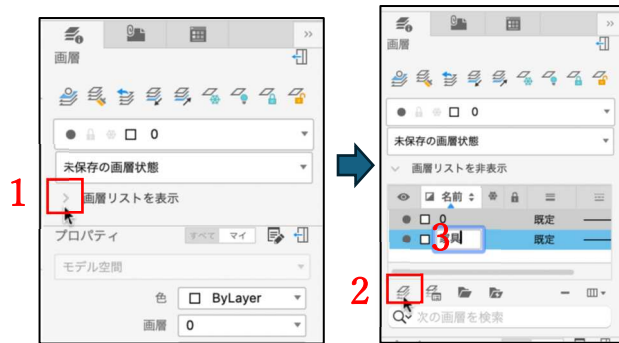
操作 2 の代わりに、ステータスバー [スナップモード]を し、[設定]を します。



p.102/p.138 step3 操作 1~3 新規画層の作成

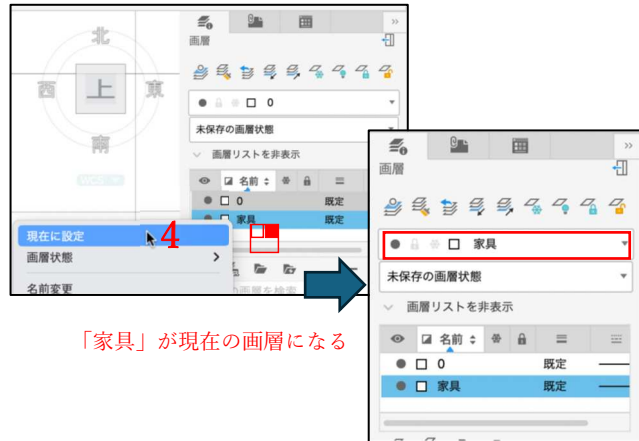
p.102 の例で以下に手順を説明

- 1 画層リストが表示されていない場合は、画面右の[画層]パレットの[画層リストを表示]先頭の > を
- 2 画層リスト下の  [新規画層]を
- 3 新規画層の名前「家具」を入力し、 Enter キーを押して確定する



p.102 step3 操作 4~5 現在の画層を指定

4 作成された「家具」画層を し、ショートカットメニューの[現在に設定]を あるいは「家具」画層を



p.103 step4 操作 1と 5 /p.160 step7 操作 2,3 ブロックの挿入

p.103 の例で説明。操作 1 の代わりに以下の操作 1~3 を行います。

- 1 画面右の[ブロック]タブを
- 2 [ブロックライブラリ]を
- 3 [参照]ボタンを

ファイル選択のダイアログが開くので、本書の操作 2~4 を行います。

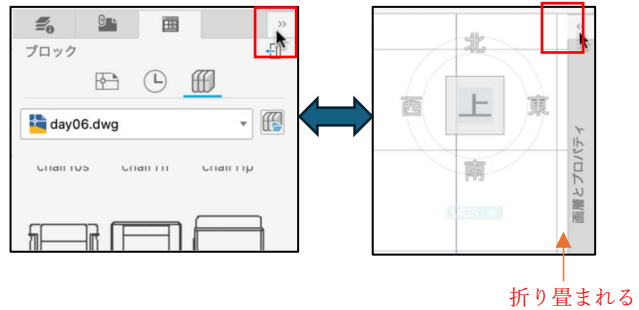
操作 5 では「chair13p」を するか、あるいは し、ショートカットメニューの[図面に挿入]を します。



1 で画面左の[ブロック]パネルの [ブロックパレット]を] しても同じ

p.104 step5 操作 3 の[自動配置]が無い

Mac 版には[自動配置]の項目は無い
ため、操作 3 は不要です。
また、パレットを閉じる操作 10 も不
要です。Mac 版では、>> を すること
でパレット全体を右端に折り畳んで
おくことができます。



p.106 step7 操作 1 画層の可視⇔不可視

操作 1 の代わりに以下の操作 1~2
を行います。

- 1 [画層とプロパティ]タブを
- 2 [画層リスト]の「0」画層の先頭[可視
性]欄の [可視]を



p.107 step8 操作 2 と 11~12 ブロックの定義

- 2 画面左の[ブロック]パネルの[ブロック
登録]を

:

- 11 [ブロック定義]ダイアログの[ブロック
作成]ボタンを

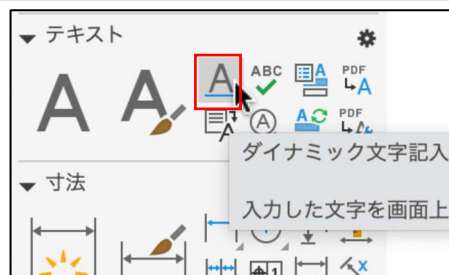
- 12 画面右の[ブロック]タブを し、[現在
の図面内のブロック]ボタンを



p.110 step1 操作 2、3 ダイナミック文字

操作 2、3 の代わりに、画面左の[テキ
スト]パネルの **A** [ダイナミック文字
記入]を します。

なお、Windows 版とはここで使用される
フォントが異なるため、記入される文字の
大きさは本書の絵とは若干異なります。



p.113 step3 操作 2/p.118 step7、8 操作 3 プロパティ

操作 2(または 3)では し、表示されるショートカットメニューの[プロパティ]を します。あるいは操作 2(または 3)の代わりに画面左の[画層とプロパティ]タブを し、[プロパティ]パレットを開いても同じです。

[プロパティ]パレットが既に表示されている場合には、操作 2(または 3)は不要です。

また、操作 5(または 6)の[プロパティ]パレットを閉じる操作は不要です。



p.116 step5 操作 1,2 文字スタイル管理

操作 1,2の代わりに画面左の[テキスト]パネルの[文字スタイル管理]を します。



操作 3~6の代わりに以下の操作を行います。

3 [+]ボタンを

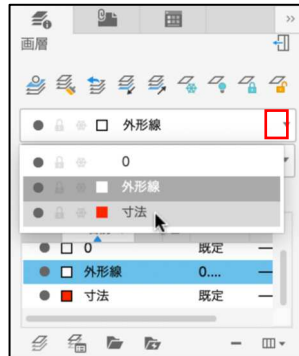
4 表示される入力ボックスに「MSM」と入力する

5 キーを押して確定する

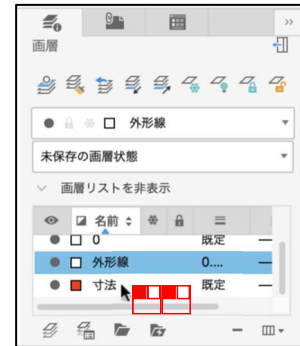
6 [ファミリー]リストから[MS 明朝]を で選択する

p.120 step1 操作 2,3/p.162 step10 操作 3 [寸法画層を優先]は？

Windows 版の[注釈]リボンタブの[寸法画層を優先]ボックスに相当する機能はないので、画面右の[画層]パレットで、右のいずれかの操作で現在の画層を「■寸法」画層にします。



[画層]ボックスを■し、表示されるプルダウンリストの「■寸法」を■



[画層リスト]の「■寸法」画層を■

p.120 step1 操作 4 寸法スタイル

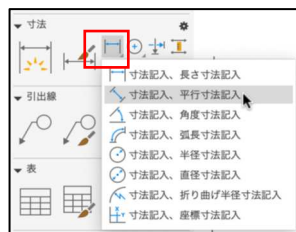
操作 4 の[寸法スタイル]は、画面右の[プロパティ]パレットの[寸法スタイル]ボックスで確認します。



p.120 step1 操作 5/p.123 step3 操作 1/p.127 step6 操作 1

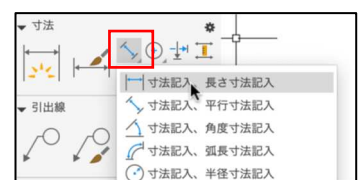
Windows 版では、コマンド名横の▼を■することで、プルダウンメニューを表示しますが、Mac 版では、▼の付いたコマンド名を■で長押しすることでプルダウンメニューを表示します。

p.120 step1 操作 5



[寸法]パレットの [長さ寸法記入]を■で長押ししてプルダウンメニューの [平行寸法記入]を■

p.123 step3 操作 1



[寸法]パレットの [平行寸法記入]や■で長押ししてプルダウンメニューの [長さ寸法記入]を■

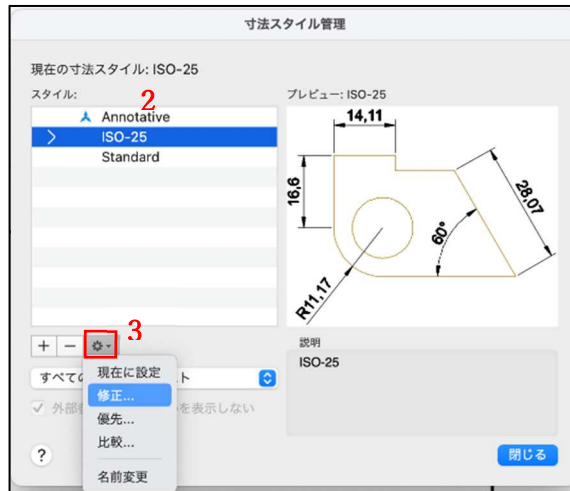
p.122 step2 操作 1/p.125 step5 操作 1 寸法スタイル管理

1 画面左の[寸法]パネルの[寸法スタイル管理]を



p.122 step2 操作 3/p.125 step5 操作 3

3 [寸法スタイル管理]ダイアログの を、表示されるリストの[修正]を



p.133 step2 操作 2と 6

Mac 版では、操作 2 の [パッチ印刷] ダイアログは表示されません。操作 3 へ進みます。

操作 5 の結果、開いた Acrobat (Reader) でプレビューを確認して閉じ、[印刷 - レイアウト A4]ダイアログの[印刷]ボタンを

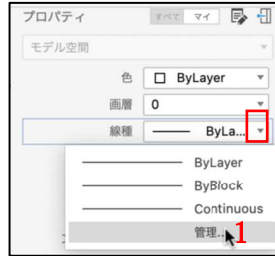


p.137 step2 操作 1 と 4 線種を用意する

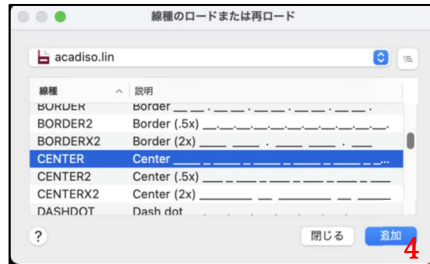
1 [プロパティ]パレットの[線種]ボックスを□し、リストの[管理...]を□

:

操作 2 と 3 操作は本書と同じ

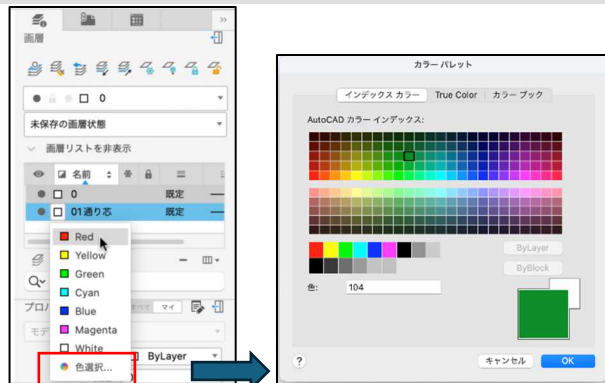


4 [追加]ボタンを□





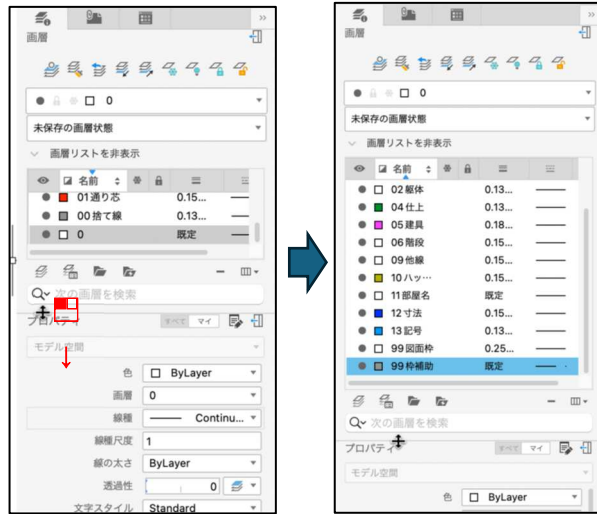
p.138 step3 操作 5 / p.139 step4 画層の色指定

p.138 の 5 では、プルダウンリストの [Red] を□で選択できます。プルダウンリストに無い色を指定する場合は、プルダウンリストの [色選択] を□し、[カラーパレット] で色を選択して [OK] ボタンを□します。



p.139 step4 [画層リスト]のサイズ変更

[画層リスト]の縦幅を広くするには、[プロパティ]パレットとの境界にマウスカーソルを合わせ、カーソルが  に変わったら  ↓ します。



同様に、[画層リスト]の横幅や各項目の表示幅を変更することも可能です。



横幅を変更



項目の幅を変更

画面右の[画層]パレットのドッキングを解除することで、大きいサイズの[画層]パレットで画層管理を行うことも可能です。



作業領域に下記のように[画層]パレットが表示される


p.140 step5 操作 1,2 [画層リスト]の並び替え

[画層リスト]の[名前]項目欄の  を  し、プルダウンリストで、[名前で並び替え]と[色で並び替え]を選択できます。



昇順




降順

[名前]項目欄を  で、昇順⇔降順が切り替わります。





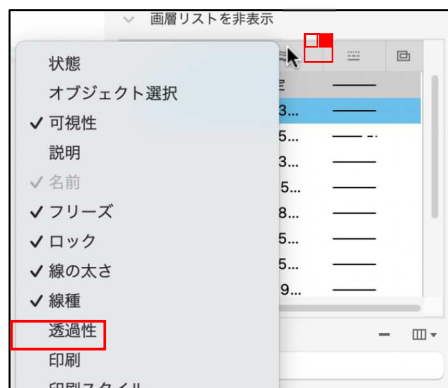
p.140 step5 操作 3,4 画層の印刷不可指定

初期値では、[印刷]項目が配置されていないため、以下の操作で印刷不可指定をします。

- 1 「00 捨て線」画層を 
- 2 ショートカットメニューの[画層状態]を 
- 3 チェックの付いた[印刷]を 



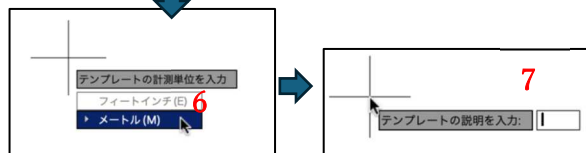
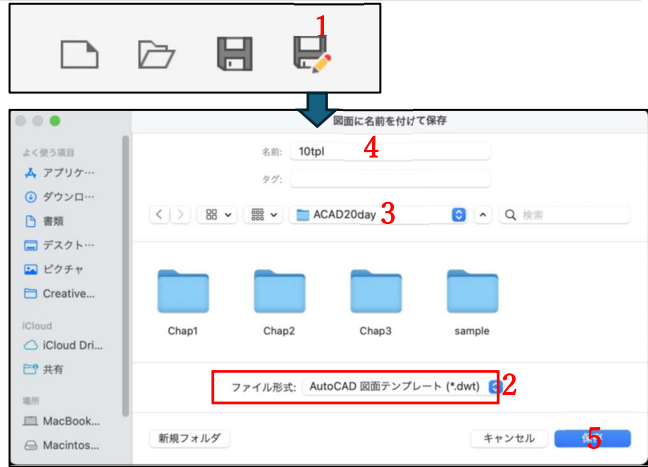
また、[項目]欄を  し、チェックの付いていない [印刷] を  することで、[画層リスト]の項目に [印刷] を追加することも可能です。



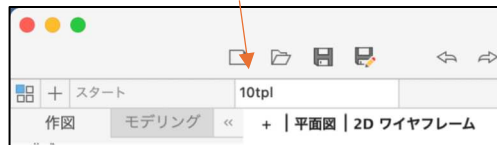
p.141 step7 操作1 テンプレートとして保存

- 1 [名前を付けて保存]コマンドを
- 2 [名前を付けて保存]ダイアログの[ファイルの種類]ボックスを、リストから[AutoCAD 図面テンプレート(*.dwt)]を
- 3 [ファイルの場所]を「書類」内の「ACAD20day」フォルダーにする
- 4 [名前]ボックスにテンプレートの名前として「10tpl」を入力する
- 5 [保存]ボタンを
- 6 テンプレート単位として[メートル]を
- 7 テンプレートの説明は入力せずに **Enter** キーを押して確定する

※「Template」フォルダーまで進るのは、煩雑なため、一旦3のフォルダーに保存し、最後 (p.153) に改めて「Template」フォルダーに保存します。



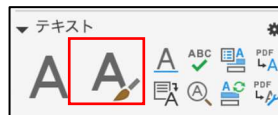
ファイルタブが4で指定したテンプレート名になる




p.142 step8 文字スタイルの設定

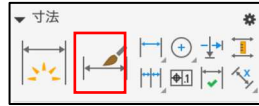
操作 1,2 の代わりに、画面左の [テキスト] パネルの[文字スタイル管理]を

操作 4~9 の指示箇所は右図の通りです。



p.144 step8 操作 1,2 寸法スタイルの設定

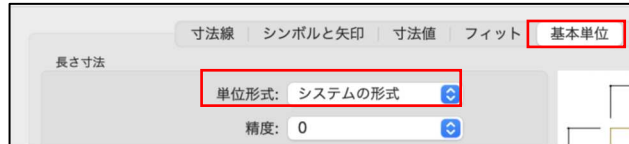
操作 1 の代わりに、画面左の [寸法] パネルの [寸法スタイル管理] を  し




：


：




操作 15 では [システムの形式] を選択します。



p.146 step10 操作 2~ ページ設定管理

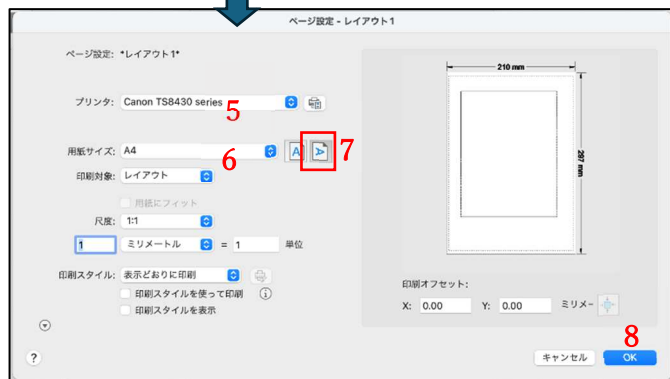
2 メニューバー[ファイル]を 

3 プルダウンメニューの[ページ設定管理]を 

4 [ページ設定]ダイアログで[*レイアウト 1*]が選択されている状態で、 を  し、プルダウンメニューから[編集]を 



操作 5~8 の指示箇所は右図の通りです。



p.150 step14 操作 2~ 選択したオブジェクトの画層を変更

操作 2、4 は不要です。画面右の[プロパティ]パレットの[プロパティ]ボックスを し、プルダウンリストから「99 枠補助」を します。

選択されたオブジェクトの数



p.151 step15 操作 3~5 / p.218 step1 操作 2~3 文字スタイルの指定

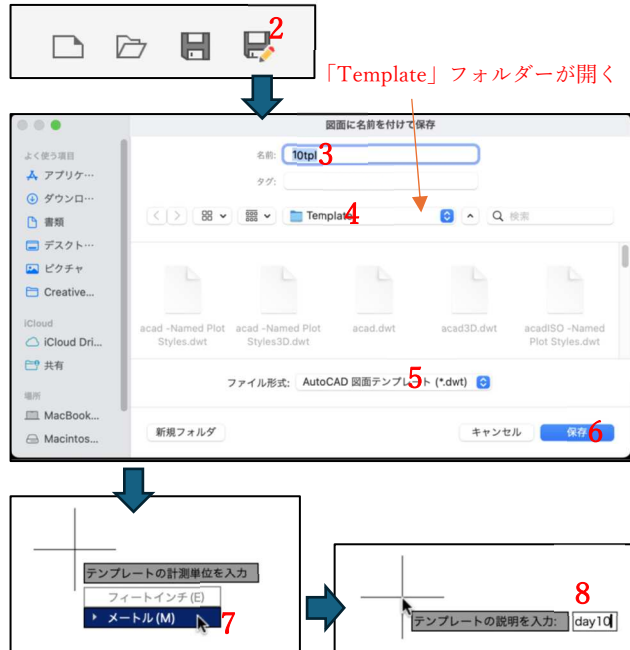
画面右の[プロパティ]パレットの[文字スタイル]ボックスを し、プルダウンリストから指定の文字スタイル (p.151 では「注釈 2.5M」) を します。



p.153 step17 改めて「Template」フォルダーにテンプレートを保存する

操作 2~ の代わりに以下の操作を行います。

- 2 [名前を付けて保存]コマンドを
- 3 [名前を付けて保存]ダイアログの[名前]ボックスの「10tpl」を確認する
- 4 [ファイルの場所]の「Template」フォルダーを確認する
- 5 [ファイルの種類]の「AutoCAD 図面テンプレート (*.dwt)」を確認する
- 6 [保存]ボタンを
- 7 テンプレート単位として[メートル]を
- 8 テンプレートの説明は、必要に応じて入力し、**Enter** キーを押して確定する



p.154 step1 操作 1

1 [スタート]タブ[新規作成]右の▼を
■し、プルダウンメニューから[テンプレ
ートを参照]を■



p.155 step1 操作 1

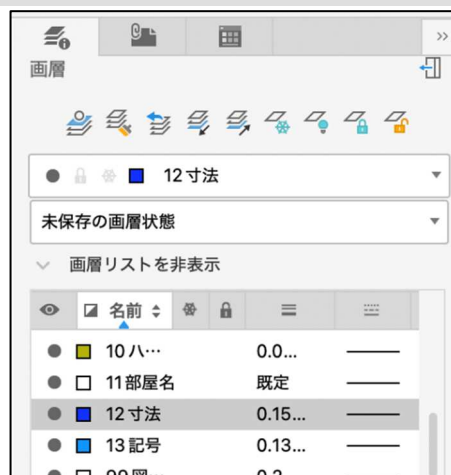
「00 捨て線」を現在の画層にして長
方形を作成したが、長方形が点線に
ならず実線で表示される

[プロパティ]パレットの[線種]を確
認しましょう。「Continuous」になっ
ていませんか? 「ByLayer」にしたう
えで長方形を作成してください。



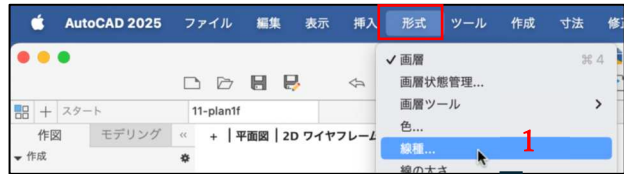
p.162 step10 操作 3

Windows 版の[注釈]リボンタブの[寸
法画層を優先]ボックスに相当する機
能はないので、画面右の[画層]パレ
ットで、現在の画層を「12 寸法」画層
にします。



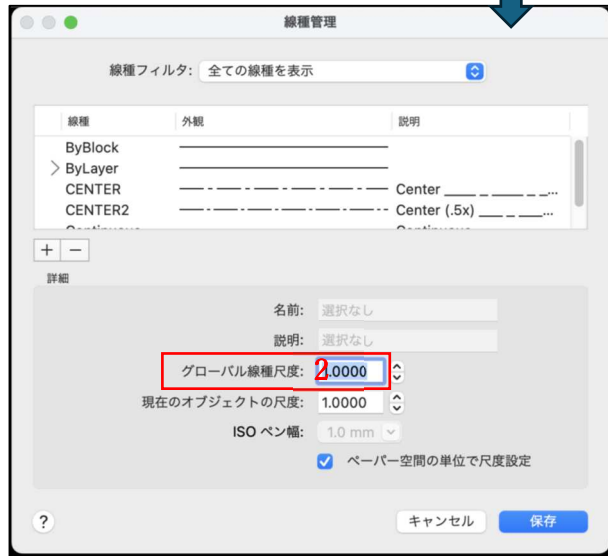
p.165 Column 操作 1~ グローバル線種尺度

1 メニューバー[形式]-[線種..]を



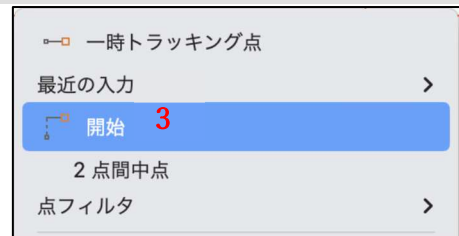
2 [線種管理]ダイアログの[グローバル線種尺度]ボックスの数値を変更する

3 [保存]ボタンを




p.167 step1 操作 3 優先オブジェクトスナップメニュー[基点設定]

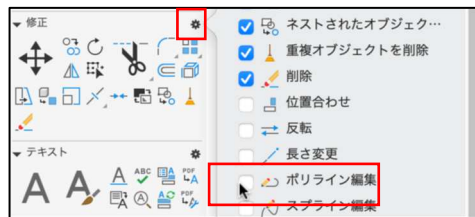
操作 3 では、優先オブジェクトスナップメニューの[開始]を



p.174 step8/p.175 step10 操作 1.2 ポリライン編集

初期値では [ポリライン編集] コマンドは画面左の [修正] パネルに配置されていません。

メニューバー [修正] - [オブジェクト] - [ポリライン] を するか、あるいは [修正] パネルの  [パネルをカスタマイズ] を し、[ポリライン編集] にチェックを付けることで、[修正] パネルに配置して、利用します。



p.183 Column 現在の画層と画層の非表示⇔表示

[現在層に設定] コマンド


[非表示] コマンド

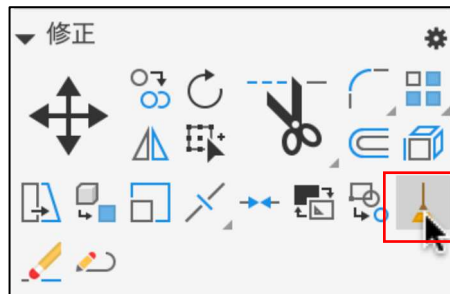
で切替 [表示]

↓ ↑

[非表示]

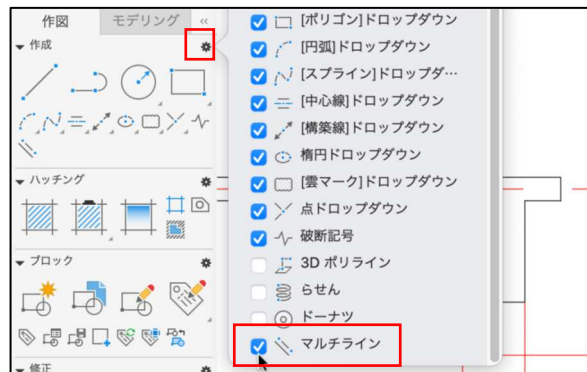
p.201 step16 操作 1.2 重複オブジェクトを削除

操作 1.2 の代わりに画面左の [修正] パネルの  [重複オブジェクトを削除] を するか、あるいはメニューバー [修正] - [重複オブジェクトを削除] を します。



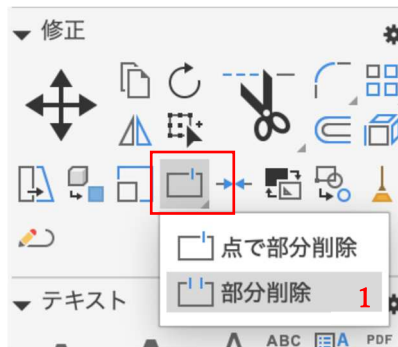
p.204 step2 操作2 マルチライン

[マルチライン]コマンドは、画面左 [作成] パネルの [パネルカスタマイズ] を開き、プルダウンリストの [マルチライン] にチェックを付けることで、[作成] パネルに追加して利用します。



p.206 step3 操作1 部分削除

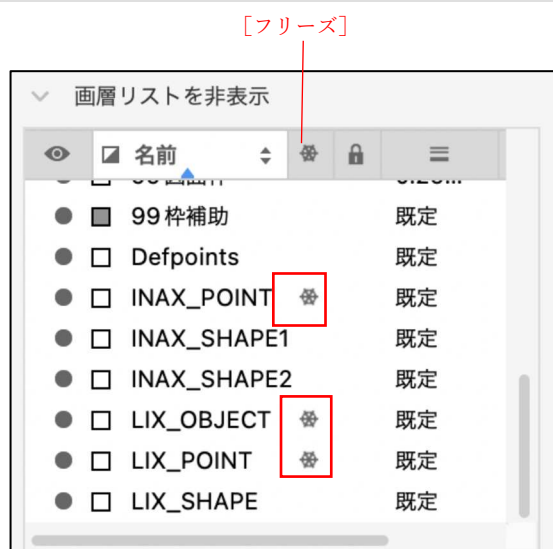
1 画面左 [修正] パネルの [点で部分削除] を長押しし、プルダウンメニューの [部分削除] を開く



AutoCAD2027 for Mac では、アイコンが右図のように変更されました

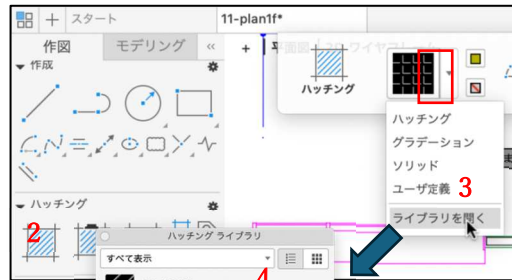
p.217 step16 操作1 画層のフリーズ

[画層] リストのフリーズする画層の [フリーズ] 欄を開くことで、フリーズの有効⇔無効を切り替えます。



p.219 step2 操作 2~12 ハッチングの作成

- 2 画面左の[ハッチング]パネルの[ハッチング]コマンドを
- 3 [ハッチングパターン]の▼を、[ライブラリを開く]を



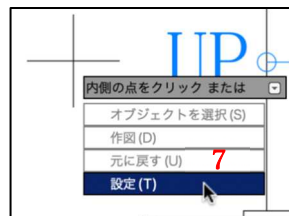
- 4 [ハッチングライブラリ]で[JIS_RC_10]を



- 5 画面右の[プロパティ]パレットの[色]ボックスを「ByLayer」にし、[異縮尺対応]にチェックを付ける



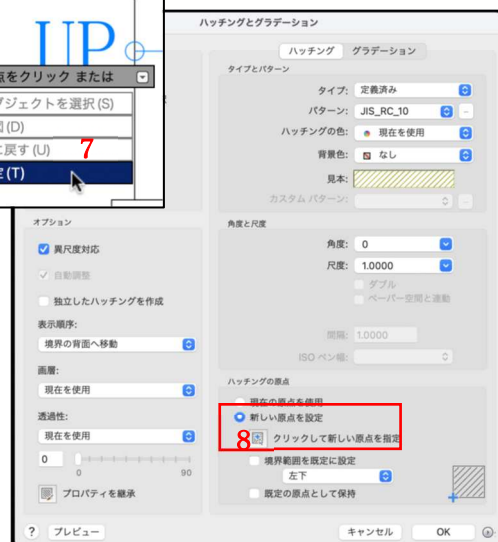
- 6 躯体の内側にマウスカーソルを合わせ、プレビューが表示されなくとも



- 7 ↓キーを押し、プルダウンメニューの[設定]を

- 8 [ハッチングとグラデーション]ダイアログの[新しい原点を設定]を選択し、さ

- らに [クリックして新しい原点を指定] ボタンを



- 9~11 本書と同様に操作する

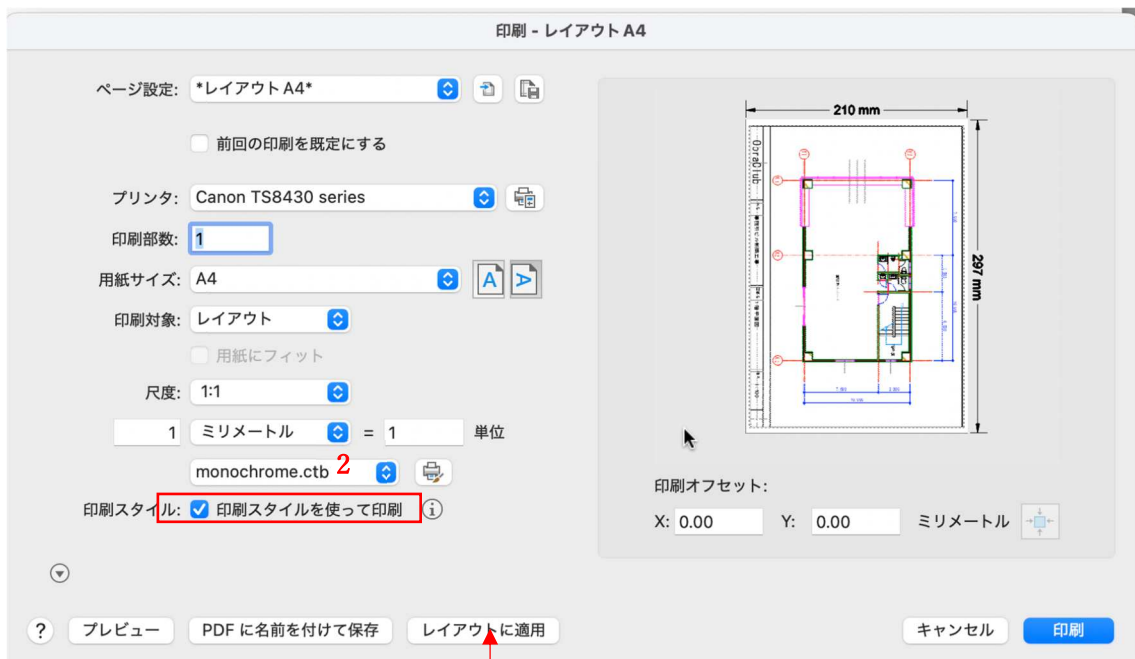
- 12 画面下[コマンドウィンドウ]を、キーボードから「layon」(全画層表示の指示コマンド)を入力し Enter キーを押して確定する



p.222 step4 Mac 版のステータスバー



p.224 step6 Mac 版の[印刷-レイアウト A4]ダイアログ




[レイアウトに適用] を すると、[レイアウト A4] の印刷設定として保存される


p.232 step5 操作 2,3

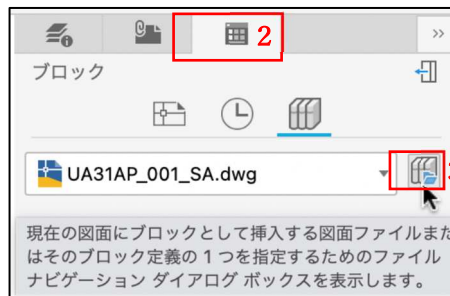
操作 2,3 の代わりに [画層リスト] の「01 通り芯」画層の [線種] 欄を し、プルダウンリストの [管理] を して [線種管理] ダイアログを開きます。




p.235 step9 操作 2,3

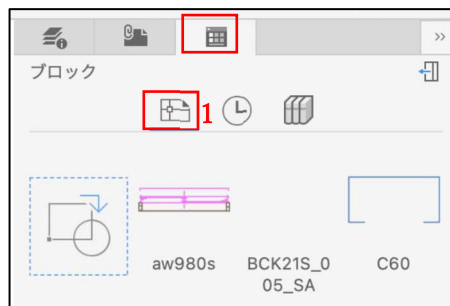
2 画面右の  [ブロック]パレットタブを

3  [参照]ボタンを



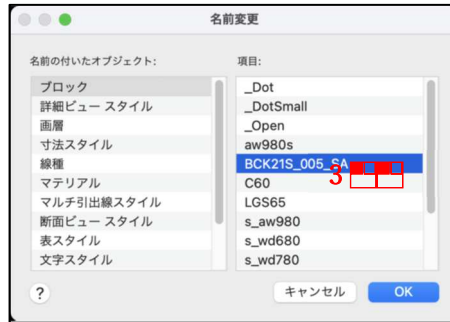
p.246 step10 操作 1

1 画面右の [ブロック]パレットの  [現在の図面内のブロック]を

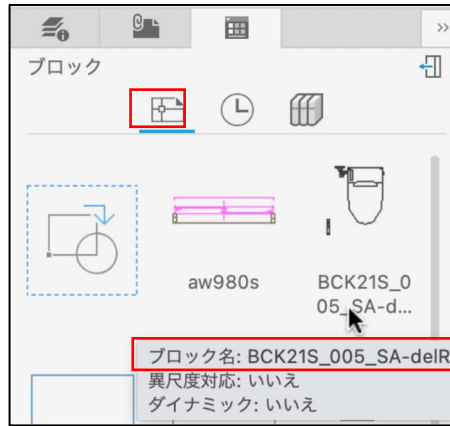


p.249 step2 操作 3

3 [項目]欄の「BCK21S_005_SA」を



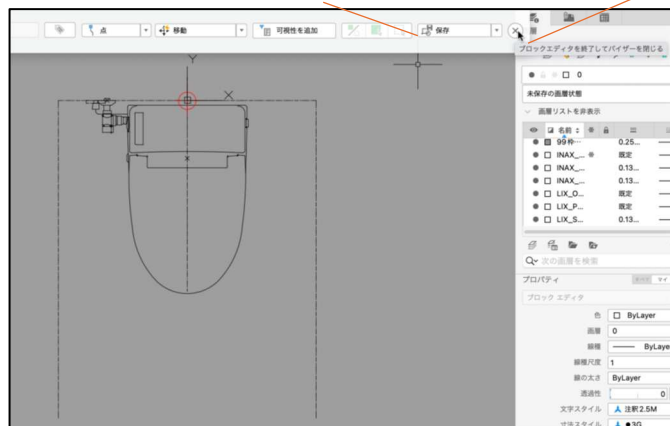
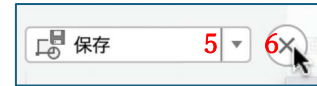
名前変更されたブロックの確認は、
[ブロック]パレットの[現在の図面内のブロック]で、名前変更した
ブロックにマウスカursorを合わせ、そのブロック名を確認します。






p.250 step3 操作 5,6 ブロックエディタの終了

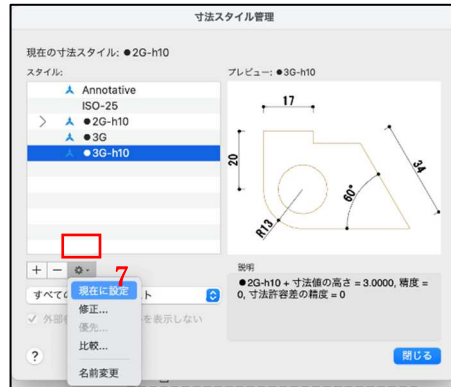
5 [ブロックエディタ]の[保存]を

6 [×][ブロックエディタを終了してバイザーを閉じる]を






p.253 step6 操作 7

7 [寸法スタイル管理]ダイアログの  を  し、プルダウンメニューの[現在に設定]を 



p.254 step8 操作 1

[クイック寸法]コマンドは、画面左 [寸法] パネルの  [パネルカスタマイズ] を  し、プルダウンリストの[寸法記入、クイック寸法...]にチェックを付けることで、[寸法]パネルに追加して利用するか、あるいはメニューバー[寸法]— [クイック寸法記入] を  します。

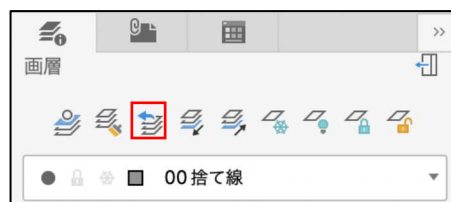


p.256 step11 操作 1,2 p.257 step12 操作 1 の前



p.256

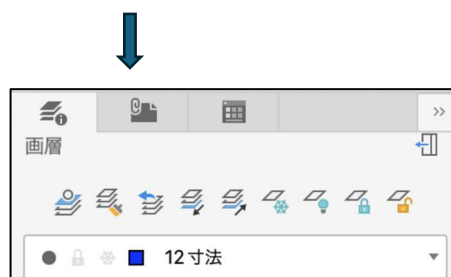
1 キーボードからコマンド「layon」を入力し、すべての画層を表示する

2 [現在の画層]は「12 寸法」になっているため、「00 捨て線」にする



p.257

前ページで「00 捨て線」画層を現在の画層にしたため、操作 1 の前に [画層] パネルの  [直前の画層] を  して「12 寸法」画層を [現在の画層] にします。



↑ 直前の[現在の画層]に切り替わる

p.262 step2 操作 6~9

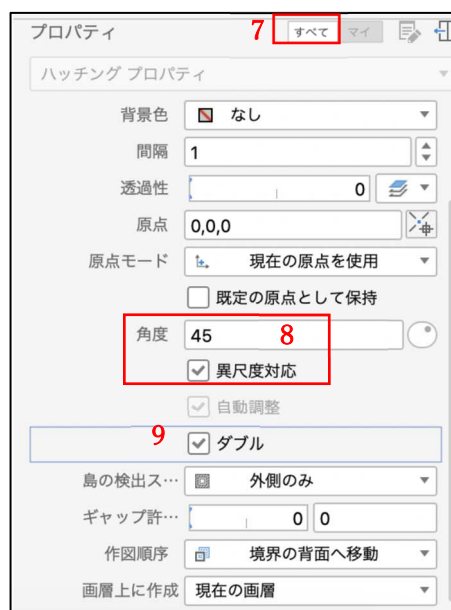
6 [ハッチングパターン]ボックスの[▼]を□し、プルダウンメニューの[ユーザー定義]を□



7 画面右の[プロパティ]パレットの[すべて]タブを□

8 [角度]ボックスに「45」を入力し、[異尺度対応]にチェックを付ける

9 [ダブル]にチェックを付ける

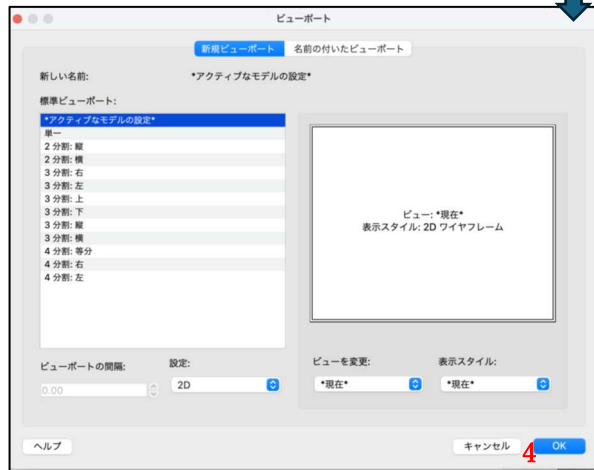


p.265 step4 操作 3,4

3 メニューバー[表示]-[ビューポート]-
[ビューポート登録]を



4 [ビューポート]ダイアログの[OK]ボタ
ンを



p.268 step7 操作 2

2 画面右の[画層リスト]の「12 寸法-部
分詳細」画層の[VP でフリーズ]欄を

[VP でフリーズ]欄が見当たらない場合
はリストウィンドウ下にマウスカーソルを
合わせ、(表示される)スクロールバーを
☐→して、リスト表示をスクロールしてく
ださい。

